



## 北海道地方

### 北海道帯廣市大通りの跨線橋

北海道帯廣郡發展の痛といはれてゐる市内大通り踏切りは市當局より數回跨線橋又は地下道とすべく陳情してゐたが、愈々札幌鐵道局で跨線橋架設の計畫を樹立し、昨年十一月三十日に着工し、爾來銳意工事を急いでゐる、同跨線橋は現在の踏切の西側に設けられるものにして、全長四十七メートル五内兩端十メートルをコンクリートの

階段とし、二十七メートル五〇を古レール等で橋材を造り、全高八メートル七五、橋高五メートル、幅員二メートル七〇の立派なものである。これが完成の上は平面踏切に依り惹起した混雜が一掃されることとなり非常に便利且つ安全となるであらう。

### 靜内橋渡橋式

札幌浦河線地方費道路として重要な位地に當る日高國靜内郡靜内町の靜内橋は總工費十八萬圓を以て架橋中であつたが今回竣工し一月二十五日室蘭土木事務所長靜内町長等參列し盛大なる渡橋式を執行した、本橋は此地方に於ける壯觀な鐵橋である。

### 生鼈橋渡橋式

膽振國勇拂部嶋川村内嶋川大川に架橋中であつた生鼈橋は延長百四十米橋脚マックリートの半永久的橋梁である、今回竣工したので一月二十五日男女青年團の渡り初にて盛大な渡橋式が執行せられた。

## 關東地方

### 大東京港の咽喉かちどき跳上橋の竣功

東京築港工事としての月島と築地明石町をつないで築港から眞直に都心に達せしめる「かちどき跳上橋」が昨年末豫定より早く第一期橋臺工事を完成した。

總工費三百萬圓を投じて去る昭和七年十一月起工した同跳上橋は全長二百四十六メートルにして、永代橋を抜くこと六十六メートルの長橋ぢや、引續き第二期橋脚工事は、十一年四月、第三期全面の完成は十三

年陽春の頃、真中の四十四メートルが二つに割れて上に開くと二千噸級の船舶が自由に永代橋口の近くまで出入し得るのである。これが全部竣工すると背後に尢大な地域を占める東京港の月島岸壁は直線を以て都心に貫かれるが同時に昔なつかしい、「かちどきの渡し」は名のみとなるわけである。

### 東京・神奈川を結ぶ丸子橋

東京市と川崎市の裏門を結ぶ多摩川丸子橋は、東京・神奈川兩府縣が總工費五十四萬圓を折半して、昭和七年九月起工以來鋭意工事を進めてゐるが近く竣工の豫定である。

丸子橋の設計は東京府土木部橋梁課の手になるものにして、延長四百メートル、幅員十一メートル五のモダン橋である。

開通の曉には、大崎五反田廣小路を起點とする幅員二十五メートルの府道十九號路線と結びつくので、川崎市の裏玄關上丸子

方面は大東京の中心地は勿論大崎、武藏小山、洗足方面とも交通は非常に便利となり將來の大發展が期待されてゐる。

### 千葉縣・埼玉兩縣を結び

#### 江戸川橋の起工

千葉縣と埼玉縣とを千葉縣下の最北端の交通起點たる流山町で結ぶ江戸川橋の起工式は、十二月十九日流山町地先舟後の渡し

の畔りに於て盛大に舉行された。

同新橋は全長三百九十九メートル〇四、有効幅員五メートル五、總工費八萬一千圓、主桁鐵筋コンクリート十型桁二十四徑間、單鋼構八徑間、床部鐵筋コンクリート床版橋面縱斷勾配にして、頂點を鋼構八徑間の中央に置き、左百五十分の一拋物線勾配、右六十分の一一直線勾配とし、横斷勾配四十分の一、橋面鋪裝アスファルトコンクリート厚さ五センチ、橋臺鐵筋コンクリート杭建込み、橋脚鐵筋コンクリート杭建込みの近代架橋工學の粹を集めたモダンを誇る新

橋である。工事は千葉縣直營にして超スピードで工作を急ぎ、遅くとも本年の秋までには完成する由である。

同橋竣工の曉には、同地方の東京への聯絡は水戸街道より松戸廻りに比べて十キロ内外の近道となり、運輸交通上非常に便利となるであらう。

### 埼玉縣下國道の改良並に

#### 正丸峠の開鑿

埼玉縣下の九號國道は既に與野町赤十字支部療院前までは幅員十五メートルに改良鋪裝され、目下同所から高崎線をオーバードにして中山道と一致する地點までの新道工事が進められ工費二十六萬圓にて三月末までに開通の豫定である。尙九號國道はこれにて打切られる由である。

更らに四號國道は既に草加町の東を廻つて蒲生村まで幅員十五メートルに改良鋪裝されたが、今後は四號國道の改良鋪裝に主力を注がれることになり、昭和十年度に

は、工費二十萬圓を投じて清生村以北の改良舗装を施行し、内務省直營工事は越ヶ谷町で打切り、同町以北は縣直營にて施行される豫定である。

尙、入間郡と秩父郡との境にある正九峠の開鑿工事は愈々工費五萬圓を投じて着工されることになつた。

同工事は飯能町在吾野、名項村堺より大藏平に至る延長千二百メートル、幅員四メートル五〇、平均勾配二十五分の一で三月下旬までに完成の豫定である。

これが完成の曉には、同地方に残存せる幾多の史蹟や寶庫が世に出るであらう。

### 埼玉縣直營の道路工事

埼玉縣土木課に於ては、去年末より本年春までの間に執行される九年度追加豫算災害應急施設費による土木事業中縣直營の縣道改良工事は左記の如く四十四ヶ所を總工費十七萬九千四百六十四圓を投じて施行することは同縣會最終日に決定した。この他

左記主要縣道七ヶ所に對し延長一〇、七二〇メートルを四萬七千七百六圓で舗装することに決定した。

改良工事の施工箇所は何れも多年の懸案となつてゐたものをこの際一氣に解決する計畫にて秩父郡野上村野上下郷地内の短期間で二回秩父鐵道と平面交叉をなし、交通上憂慮されてゐたのを改良して踏切の整理を行ふこと粕壁、吉川兩町の縣道擴張、岡町地内の熊谷槻川二線の分岐點改善、兒玉町地内の改良等この實現によつて關係地方は大なる利益を得るもののみである。

#### ◇縣道改良

鳩ヶ谷、日暮里線鳩ヶ谷町三ツ和二、〇〇〇、桶川坂戸線桶川大石町村界三、〇〇〇、上青木、川口線川口市三、〇〇〇、日進所澤線馬宮村三、〇〇〇、大宮千住線新郷村江戸袋五、〇〇〇、鳩ヶ谷吉川線安行村二、〇〇〇、草加流山線草加町新田村入倉地三、〇〇〇、豐岡坂戸線高萩村高萩六、〇〇〇、小川越生線越生町七、六〇〇、川越、志木線南

古谷村五、五〇〇〇、川越秩父線霞ヶ關村笠ノ幡三、〇〇〇〇、所澤府中線吾妻村久米四、〇〇〇〇、川越松山線野本北古凍四、二六四、古凍松山線南吉見西吉見兩村、熊谷松山線大岡村岡六、八〇〇〇、深谷松山線宮並村三、〇〇〇〇、浦和秩父線樋口村野上下郷八、〇〇〇〇、同野上村藤谷淵五、〇〇〇〇、川越秩父線橫瀨村六、〇〇〇〇、秩父小川線大河原村安戸三、〇〇〇〇、兒玉鬼石線青柳村三、〇〇〇〇、兒玉本野上停車場線、兒玉町金屋村入倉二、〇〇〇〇、兒玉新町線兒玉町共和村入倉六、〇〇〇〇、本庄妻沼新倉村上新戒四、〇〇〇〇、荒宿籠原停車場線奈良村二、〇〇〇〇、熊谷忍線佐谷田村戸出二、〇〇〇〇、熊谷小川線吉岡村万吉八、〇〇〇〇、淡谷松山小原村三、〇〇〇〇、忍加須線禮羽村禮羽三、〇〇〇〇、同太田村五、〇〇〇〇、加須栗橋線大桑村南篠崎六、〇〇〇〇、羽生栗橋線羽生町羽生二三、〇〇〇〇、岩槻菖蒲線綾瀨村二、五〇〇〇、粕壁野田線粕壁町

- 七、〇〇〇、久喜栗橋線太田鷺宮入金四、〇〇〇、鴻巣菖蒲線小林五、〇〇〇、加須幸手線櫻田行幸入會四、〇〇〇、杉戸寶珠線花杉戸堤郷入會三、五〇〇、草加流山線早稻田三、〇〇〇、久喜栗橋線靜高柳三、〇〇〇、八木郷草加線八木郷久兵衛四、〇〇〇、越ヶ谷吉川線吉川五、〇〇〇、

◇鋪裝工事 蕨、草加間鳩ヶ谷町地内延長

- 二、四五〇メートル、川越東京間川越市地内二、七〇〇、同朝霞町地内二、〇〇〇、熊ヶ谷忍間熊ヶ谷市地内一、二〇〇、同忍町地内一、二〇〇、大宮船塀間大宮町地内一、〇〇〇、同岩槻町地内九二〇

茨城縣下平潟・大津間海

岩道路の改良

茨城縣平潟町では、昭和九年度匡救土木事業として、長濱海岸道路を改良中であるが、該工事は第三期工事に屬し、長濱船敷場附近より大津町五浦へ通ずる延長二百五

十メートル、幅員三メートル五〇にて、これに要する工費は二千百十圓、年度内に完成の豫定である。而して、同海岸道路は昭和十年度の第四期工事に於て平潟町地内二百五十メートル大津町地内四百五十メートルを改良する豫定である。

同海岸道路の沿線は大平洋岸を迂回し、長濱五浦等風光明媚の地を控え、自動車の通行に適するを以て、實現後該地方の發展は大いに期待されてゐる。

群馬縣國道の改良

群馬縣下にある國道九號線と十號線の改良工事に就ては、同縣土木課と内務省や東京土木出張所と打合せの結果、昭和九年度救農土木事業として工費九萬圓を追加して施工されることに決定した。

同路線中碓水郡白井町横川の改良工事は現在信越線横川驛の前後にて二ヶ所の踏切りを横斷してゐるのをこの機會に横川驛南方を通過する新路線を採用して踏切り横斷

を避ける案を採用するに決定し、昭和十年度には横川より更に坂本町に向つて曲線勾配改良擴張工事を施工し、又國道十號線前橋・澁川間は路面の鋪裝改良工事を施工するに内定した由である。

東北地方

宮城縣下白石・中村間縣道の改良

宮城縣下の白石・中村間省營バス運轉に伴ふ道路改良は、時局匡救事業として施工される様地方民は待望してゐたが、縣當局が鐵道省と折衝の結果、本縣側白石町から伊具郡大内村間三十九キロ四百メートルの縣道を九萬七千三百七十八萬圓にて改良することに決定したので、大河原土木工區の直營工事として斷行することになり、新年早々より本格的の測量設計に着手したが、二月起工し、工事には日給六十錢の工夫を延人員七萬七千人使用して、今夏までには

完成さす豫定の由である。

## 岩手縣下の久慈橋

岩手縣久慈町の關門に異彩を添へる久慈橋の架設工事は大寒中には珍らしい此頃の暖氣に氣遣はれてゐたコンクリート工事も着々進行し、竣工も近づいてゐる。

同橋は最新式ゲルベー式のモダン橋にして完成開通の曉には同地方の交通は非常に便利となるであらふ。

## 北陸地方

### 富山縣下産業道路の竣工

富山縣下越國境天田峠の産業開發道路は總工費四十五萬圓を投じて、昭和七年七月起工し、爾來同縣西礪波郡南蟹村より石川縣河北郡俱利伽羅村に至る延長七千七百メートルの改良を行ふてゐたが、約二ヶ年の日子を費し、昨年末見事に完成したので、十二月二十三日地元西礪波村南蟹谷村と石

川縣河北郡俱利伽羅村とが共同主催にて盛大なる開通祝賀會を舉行した。

### 神通川の成子橋竣工

神通川に架する成子橋は總工費十二萬五千圓を投じ、昭和八年十一月着工九年十二月落成したので一月二十二日盛大な落成式を舉行した、新橋は延長三百五十二メートルのモダンな橋梁である。

### ニツの登山道

南魚沼郡六日町營林署では管内山間地の貧農救済のため工費一萬三千圓を以つて十年度春早々上越アルプス仙の倉嶽登山コース及び八海、中嶽、駒嶽の三山縱走コースを開鑿することとし計畫を進めてゐるが仙の倉コースは上越線越谷中里驛から土樽村桐生高校ヒユツテ、法政ヒユツテ、毛皮澤を經る八千メートル、一方三山縱越は八海山より中嶽に至る七千メートル、中嶽より駒嶽に至る一萬メートルでいづれも幅員三

メートルで各コースとも全國アルピニストに待望されてゐたものである。

### 石川縣の新縣道

昨年開會された石川縣通常縣會は昭和十年度一般縣豫算五百五十萬圓と未曾有の災害に對する復興追加豫算總額八百四十九萬圓餘を無修正にて原案通り可決し、同時に町村道二十三路線を新に縣道に認定した由である。而して、新に認定された縣道に對する内務省の認可許可を要する起債其他の手續の完了次第、災害復舊事業中急を要するものより漸次着工される由である。

## 東山地方

### 長野縣上高地登山自動車

#### 道路の改良

長野縣下の上高地登山自動車道路の本格的復舊工事に就いては、松本土木出張所でどしどし材料を集め、本春の融雪期を待つ

て着工される豫定である。同工事箇所は松本船津線中ノ湯下流三十三ヶ所、松本槍ヶ嶽線中ノ湯上流三ヶ所、計三十六ヶ所にし、これに要する總工費は二十萬圓にして、最難所釜トンネルは下流へ約二倍の長さに延長される他、復舊箇所幅員は何れも擴張されることになつて居り且つ今後の増水を考慮して路面を上方に着替へる方針であるから、これが完成の後には、國立公園への自動車道路として稍面目を一新するであらふ。

### 長野縣依田橋の開通

長野縣大屋別線中に内務省災害復舊工事として、總工費二萬餘圓を投じて架設中なりし依田橋は、其後の工事は順調に進行し、見事に竣工したので十二月十六日に同橋々畔に於て、盛大なる開通式が舉行された。同橋は、依田窪唯一のモダンな長橋にして、此後は同地方の交通は非常に便利となるであらふ。

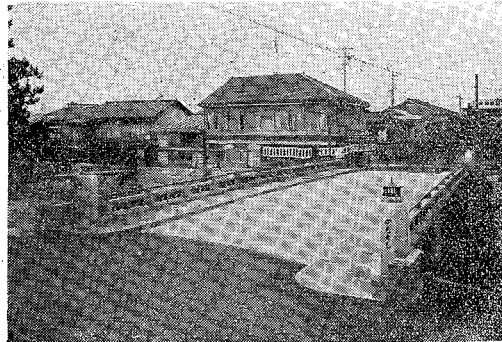
### 岐阜縣大垣市都市計畫道路の改良

岐阜縣大垣市の懸案たる都市計畫事業は第一期事業として、大垣驛前線西大垣・長澤線（所謂國道乗入線）及び東前・久復線（船町川の埋立）の二大幹線道路の開設を企てずでにこれが豫算六十三萬三千圓を議決してゐるが、引續き新土木事業に妨げられて未着手のまゝ今日に及んだのである。而して、これが實施は分割施行にして、昭和九年度分は三十萬五千三百十圓、昭和十年度分は十五萬五千七百七十九圓、昭和十一年度分は十七萬九千九百一十一圓の豫算は一月十四日の初市會に於て議決された。従つて、昭和九年度分の工事は近く着工される豫定である。

### 岐阜縣鍛冶橋の開通

岐阜縣高山町地先たる高山町の驛より町中央部に至る縣道中宮川に總工費一六千萬

九百五十七圓を投じて架設中なりし、鍛冶橋は昨年未見事に完成開通した。同橋は延長三十三メートル一、二、有効幅員十一メ



大垣市宮川町の鍛冶橋

トル、車道七メートル五〇、歩道一メートル七五にして、橋體は鐵筋コンクリート丁桁三連のモダン橋である。尙、同橋の開通によりて、同地方の享ける便益は甚大であ

らふ。

# 東海地方

## 静岡類々道の改良路線

昨年末に開會された静岡縣の通常縣會に於て可決された昭和九年度農村振興其他應急土木事業としての府縣道改良事業（六萬六千圓）及び昭和十年度主要府縣道改良事業（五十萬圓）の路線名及び施行箇所は左記の通りである。

### ◇九年度農村其他應急土木府縣道改良（十

三線延長五千三百五十メートル）

路線名	施行箇所	延長	有効
		米	幅員米
仰木松崎線	賀茂三坂	三〇〇	三、〇
戸田修善寺線	田方修善寺	九〇〇	三、〇
三島熱海線	同熱海	三〇〇	四、五
御殿場小田原線	駿東足柄	四二〇	三、五
静岡甲府線	庵原松野	五〇〇	四、五
梅ヶ島静岡線	安倍大河内	三〇〇	三、〇
東川根島田線	志太大長	三五〇	三、五

地方通信

池新田金谷線 小笠朝比奈 六六〇 四、五

森大居線 周智大居 二〇〇 三、五

横山熊線 磐田熊 四四〇 三、五

二俣水窪線 磐田山香 二〇〇 三、五

氣賀雄踏線 濱名伊佐見 三三〇 四、五

澁川郡田停車場線

引佐都田 四五〇 三、五

### ◇十年度主要府縣道改良 重要府縣道十七

線延長一萬五千三百メートル一般府縣道

七十線延長一萬五千二百メートルを選

定し改良を加へんとするのである其内重

要府縣道は左の通

### ◇重要府縣道

路線名	施行箇所	延長	有効
		米	幅員米
下田伊東線	賀茂白濱	五〇〇	六、〇
同線	田方伊東	二〇〇	六、五
松崎土肥線	同土肥	二〇〇	六、〇
三島熱海線	同熱海	一、〇〇〇	六、〇
北上御殿場線	駿東富士岡	七五〇	五、五
小山厚木線	同小山	一八〇	六、〇
大宮甲府線	富士富丘	六五〇	五、五

静岡甲府線

庵原富士川松野 五〇〇 五、五

静岡清水港線 清水 三〇〇 二、三、〇

静岡川崎線

静岡廣野用宗 一、五〇〇 六、〇

東川根静岡線

安倍清澤 二、八五〇 三、〇

梅ヶ島静岡線 大河内 八五〇 三、〇

横須賀池新田線 小笠千濱 九五〇 五、五

御前崎堀之内停車場線

同池新田 一、二〇〇 六、〇

二俣水窪線

周智磐田城西山香 一、六〇〇 三、六

森大居線

周智大居三倉 一、二五〇 四、五

新居三ヶ日線 引佐三ヶ日 六〇〇 五、五

## 近畿地方

### 滋賀縣琵琶湖週遊道路の

### 改良

滋賀縣下の琵琶湖周遊道路の最線コースたる海洋・大崎伊香郡境に至る延長三百三十間は、今回愈々着工することに決定したので、一月十三日海洋小學校々庭に於て盛大なる改良起工式が舉行された。

同工事が完成した曉には、琵琶湖周遊道路の改良工事が全部完成するのであるから同地方の便利は甚大となるであらふ。

### 滋賀縣下岩室橋開通

豫ねてより、滋賀縣府縣道寺庄・土山線中に架設中なりし、岩室橋は今回見事に竣工したので、一月十六日午前十一時より甲賀郡佐山村大字岩室の同橋々畔に於て盛大なる開通式が舉行された。

同橋の架設は地方民の待望久しきものであつたのであるがために、竣工開通により同地方民の悦び甚大であらふ。

### 京都府下醍醐街道の改良

京都府では洛東山科の醍醐街道を産業道

路として改良すること決定し、第一期工事として、山科竹鼻京津國道より伽辻に至る一千七百九十八メートルを總工費一萬餘圓を投じて昨年十一月に起工したが、爾來鋭意工作を急いでゐるため本年三月頃までに完成の豫定である。

新路面はコンクリートの基礎の上にセメントのアスファルト舗装を施すものにしてこれによつて埃と凹凸の同街道も美裝化して近代道路となり、同地方の開發に資することは甚大であらふ。

### 大阪府下産業道路の改良

大阪府下の産業道路大阪・池田線は、既に昨年度中で大阪より阪急石橋附近の豊能郡北豊島村字井口堂までと、田町内呉服橋詰より宇田中町に至る一キロメートルが竣工し、其の間約二キロメートル餘を餘すのみとなつてゐたが、最近府の用地買収も一段落を告げたので、愈々十二月二十四日より工事に着手することとなり、同月二十一

日關係地である池田、秦野、北豊島三町村當局へ對し、府工營課より之れに充當する失業登録者の準備方を通達した。

同工事が完成したならば、産業道路としての利用價值は高まるであらふ。

### 大阪府下逢坂峠の新稻妻

#### 形道路の竣工

大阪府豊能郡の北部は峻峰に次ぐに峻峰を以つてするといふ交通上の難所であるが同所の西能勢と歌垣村境に跨がる龍王山の中腹を縦斷する逢坂峠に最近見事な新稻妻形道路が完成した。

同道路は府縣道地畫・福住線の一部を形成し、従来の幅員は一問許りにして、三年前より府が池田土木出張所の手により工費約八萬圓を投じて漸く切開いたもので、峠の全線二千メートル、幅員六メートル、半圓を描く屈折で路は八メートルになり、自動車通行が自由になつた。

同工事は今でも同出張所の語り草となつ



てゐるほどの難工事を極めたものだが、今では昨年竣工した西能勢村天王の九十九折と相對して、明らかに山間部特有の曲線路を誇つてゐる。

### 大阪市道頓堀川新橋の竣工

大阪市の戒橋と新戒橋との中間に施工中なりし御堂筋四名橋の一である道頓堀川新橋は地下鐵工事と併行して昨年見事に竣工した。

同新橋は總工費約三十萬圓を費して竣工したものにして、延長三十七メートル九、有効幅員四十三メートル六四の三徑間連續桁の型式で、橋下に地下鐵トンネルを跨いでゐるが、トンネルに橋の荷重のかゝるのを防ぐため長さ十二メートルの鐵筋コンクリート枕梁を架渡し、その上に橋體が架設されてゐるから橋の下が橋になつてゐる様である、橋上の意匠は場所柄とあつて、華麗を極め、勾欄は花崗石などの自然石を主とし、青銅製金具をはめ、又橋燈は雨詰に

優雅なものが各二基設置され、橋名は未定である。

### 兵庫縣加古川町の放射道路

兵庫縣下東播工場地帯の中心地として發展途上にある加古川町では、市制實施を指して附近町村の合併、公會堂、庶民病院の建築など種々準備工作中であるが、その中でも加古川町を中心とする放射道路の整備に力を入れ昨年末に完成した驛前通りの鋪装を初として、着々實行されつゝある。而して、その放射道路は次の如くである。

- (一) 新相生橋に通ずる指定縣道加古川・高砂港線(備後より尾上村養田に至る)延長二千メートル、幅員七メートル、着工本年一月の豫定。
- (二) 町の南北を縦斷する縣道小門口・備後線(工費三萬圓)延長一千三百メートル、着工三月の豫定。
- (三) 商店街を構成する舊國道筋延長一千六百メートル。

其他驛前鋪装に附隨する警察前より國道へ出る縣道も近く改良される豫定である。目下工事中の二見、加古川線の一部延長二百八十メートルは二月上旬に完成の豫定である。

## 中國地方

### 鳥取・岡山兩縣を結ぶ陰

### 陽聯絡産業道路の誕生

中國山脈の峻嶺を切り抜いて鳥取縣と岡山縣とを結ぶ陰陽聯絡産業道路中の最難工事である志戸坂トンネルは昭和八年五月五日岡山縣英田郡栗倉村坂根より同年八月十日八頭郡山鄉村駒歸より兩縣が導坑掘鑿工事最初の鶴嘴を下ろして以來近代科學を利用し、總工費三十二萬餘、延日數五百九日を費して、昨年三月三日延長五百六十五メートルのトンネルが見事に貫通して同トンネルの明紐と取付道路工事を急いでゐる結果、昨秋の風水害當時崩潰した岡山縣側の

取付道路のみを残して昨秋完成したが、同崩潰道路も近く復舊工事に着手する運びになつてゐるので、山陰と山陽との握手も今春を期して實現することゝなつた。斯くて同産業道路(府縣道智頭・大原線)は志戸坂トンネルをキーポイントとして産業上車

事上に花々しい役割を演ずることゝなつたが、取付道路及びトンネルの幅員五メートルは乗用及び貨物兩用自動車はもとより大型バスの運行にも差支ないから今後は快適なドライブ・ウエともなるであらう。

### 島根縣の作橋

松江市の南北大幹線道路本郷町北田町線中の天神川に架設計畫中の作橋は、同縣の橋梁改築費を以つて架設されることに決定し、二月初旬に着工の豫定である。

同橋は總工費二萬六千餘圓を費して、延長二十八メートル、幅員十四メートル、高さ三メートル一四のゲルバー式橋梁に架設されるものにして、地元負擔約一割の豫定

であるが、同橋の竣工により松江市の南北大幹線道路の利用増し、附近の面目は一新されるであらう。

### 山口縣の山口・防府線改良並に佐渡山トンネル開鑿計畫

山口縣が本年度最大の新事業として計畫してゐる山口・防府線の改良工事並に佐渡山トンネルの開鑿工事は、次の如くにして同縣民よりこれが實現を期待されてゐる。

本計畫は三ヶ年繼續の明治大帝行幸五十年記念事業にして、總工費六十七萬圓を投じて施行されるものである。而して、其工費の使途はトンネル開鑿費二十六萬圓、道路舗裝費二十萬圓、道路改良費六萬餘圓、用地費三萬餘圓其他は機械器具である。  
尚、トンネルの幅員は六メートル四〇、自動車二臺併行して運轉し得る所謂二車連として之を車道専用にて充て現在のトンネルは人道専用とする方針である由。

## 四國地方

### 香川縣の新縣道

香川縣土木課では、昨年の通常縣會の議決を経て左記路線を縣道に編入することに決定した。

- 縣界大川郡相生村―相生停車場(鍛冶屋原相生停車場線) 大川郡譽水村―丹生停車場(水主丹生停車場線) 大川郡五名村―同郡津田町(五名津田線) 木田郡水上村―大川郡長尾町(上高岡長尾線) 木田郡川島町―香川郡佛生山町(川島佛生山線) 木田郡屋島町字大西湯元―屋島停車場(西湯元屋島停車場線) 香川郡圓座村―同郡香西町(山崎香西線) 國分停車場―綾歌郡端岡村(國分停車場端岡線) 綾歌郡松山村―同坂出町(松山坂出線) 仲多度郡與北村―同琴平町(中川原琴平線) 三豊郡神田村―財田停車場(立石財田停車場線) 三豊郡笠田村―本山停車場(笠田線)

田本山停車場線)三豊郡仁尾町一仁尾港  
(仁尾港線)

## 高知縣安藝郡の匡救道路

### 工事

高知縣安藝郡下にある道路は時局匡救土木事業として左記の通りに夫々改良されることに決定した。

(一) 安藝郡畑山村では昭和九年度時局匡救土木事業として、撫川—安藝線(工費一千二百五十圓)、畑山—安藝線(工費一千七百五十圓)を改良することに決定し、十二月二十六日に兩線共着工した。

(二) 安藝郡東川村では昭和九年度時局匡救土木事業として同村入河内部落より黒瀬部落に通ずる町村道を工費一千元を投じて改良することに決定し、十二月十六日着工した。

## 高知縣下道路橋梁の改良

### 地方通信

昨年の高知縣參事會で可決された時局匡救事業の昭和九年度追加豫算は總額五十六萬餘圓にして、この内土木事業については合計五十八個所であるが、その主なるものは左記の通りにして、これによりて伊野町の仁淀川左岸地區が擴張され、又清水村に至る九尺道路擴張の前提と見られ、池川町の境野トンネルは三ヶ年の日子を費して今回漸く完成されたものである。

- 一、棧橋線の鋪裝擴張の二萬圓
- 一、縣道伊野清水線の伊野町地内の改修費一萬八千圓
- 一、吾川郡弘岡中ノ村の道路改修擴張費の一萬五千圓
- 一、高岡郡窪川橋の架換へ二萬三千圓
- 一、幡多郡七郷村の道路是正費一萬五千圓
- 一、長岡郡西豊永村川戸より省線豊永驛に連絡する架橋費一萬六千圓
- 一、吾川郡秋山村の道路改修費九千圓
- 一、安藝郡安藝町の道路改修費七千圓

一、吾川郡池川町境野隧道の取付道路費八千圓

## 九州地方

### 福岡・箱崎兩市町聯合の

#### 交通安全

福岡交通安全協會の協會擴大強化第一の特別大行事たる交通安全デーは福岡・西新・箱崎の三署指導のもとに福岡・箱崎兩市巨の全市民的行事として警察官、各種團體員及び市民代表等約三千名と各種の交通機關五十五臺を動員して、十二月十五、十六の兩日に亘つて盛大に舉行された。斯種の如き大規模の交通安全デーは福岡博多初まつて以來のものにして非常な賑ひであつた。耐して、當日には交通整理班、安全宣傳班、整理兼宣傳班、宣傳車輛隊常設館宣傳班、交通標識設置班、等に分れて文書、マーク手拭を配布し、各所にアーチを設けて宣傳したのであつたが、非常な好成績を収めた。

### 佐賀縣の道路改良路線

佐賀縣下の重要幹線道路網以外の所謂小計畫によりて改良される昭和十年度の國道指定府縣道並に其他の府縣道の路線及び改良箇所の内容は左の通りである。(括弧内數字は延長、單位米)

- 國道 神埼 (四二〇) 兵庫境橋改築 (一〇〇)
- 武雄 (一七〇) 以上工費一萬四千二十二圓
- 指定府縣道 佐賀、福岡線三瀬 (一六〇)
- 三瀬佐賀線松梅 (四六〇) 佐賀停車場諸
- 富線北川副中乘橋改築 (一七) 佐賀、小
- 城線、三日月山領橋改築 (七) 小城唐津
- 線小城 (二〇〇) 同殿木中島橋改築 (二
- 八) 同鬼塚和多田橋改築 (八) 唐津停車
- 場線吳服町 (八〇) 殿木、鹿島線福治 (三
- 〇〇) 同鹿島村 (一九〇) 以上工費四萬
- 七千五百八十七圓
- 府縣道 基山停車場、小郡線基山 (二〇〇)
- 仁比山、鳥栖線鳥栖麓 (二五〇) 神埼、
- 久留米線北茂安 (二八〇) 神埼、福岡線

- 中原 (一八〇) 久保山、神埼線東脊振 (一
- 七〇) 三川諸富港線東川副 (一五〇) 佐
- 賀南川副線川南副 (三五〇) 東與賀佐賀
- 線本庄 (三五〇) 大井道並應津線西與賀
- (二五〇) 久保田停車場相應津線久保田
- (一四〇) 川上鍋島停車場鍋島 (一八〇)
- 小城古湯線小城 (三一〇) 唐津呼子線坊
- 主町 (二〇〇) 西唐津湊線湊 (二三〇)
- 唐津名護屋線名護屋 (三〇〇) 唐津假屋
- 港線有浦 (一六〇) 假屋港高串線值賀 (一
- 四〇) 波多津伊萬里線波多津 (二二〇)
- 佐賀伊萬里線松浦 (一七〇) 有田川棚線
- 有田村 (二八〇) 相知有田線武内 (二二
- 〇) 佐賀伊萬里線若木 (四〇〇) 唐津武
- 雄線朝日 (一五〇) 殿木鹿島線江北下古
- 川橋改築 (一〇) 鹿島皿屋線吉田 (二五
- 〇) 鹽田屋線五町田 (一三〇) 鹿島大村
- 線鹿島町 (二一〇) 同能古見 (三三〇) 以上
- 以上工費十一萬八千三百九十一圓

### 長崎縣の道路愛護標語

長崎縣土木當局では、道路の維持修繕に費される金額は毎年巨額に達してゐるが、これが經費を節約し、效果的に道路の維持を圖るためには、道路愛護觀念を養成する必要がある。先般廣く一般から道路愛護標語を募集したところが応募者六百餘名に達したので、土木課長其他の係官の審査の上左の通り當選標語を決定發表

第一等 「奉仕の汗に輝く道路」 (佐世保市袋町 筒井勝)

第二等 「お互ひに道を明るく通りよく」 (北松浦郡星鹿村 永益孝明)

「同道は綺麗に大切に」 (長崎市城山町 竹内吉武)

第三等 「道路愛護は郷土の榮え」 (佐世保市西小島町 原定雄)

「道知る人は道を守れ」 (南高來郡有家町 藤原咲子)

「生かせ道路」 (長崎市西小島町 吉村重雄)

# 大阿蘇山中心の観光登山

## 道路會社設立計畫

世界的阿蘇大火山へは熊本縣が昭和六年の初秋二ヶ年を閲し登山自動車道路を開鑿せしが時恰も縣下陸軍特別大演習の砌り地方行幸として、畏れ多くも、鳳輦を枉させられ、眞に處女道路に轍を印せられたものとして、靈山阿蘇の光榮に縣民は歡喜感泣したのであつたが、一躍國際觀光路の檣舞臺に上り、而かも其の後同道路は同山が國立公園に指定されたため毎年登山遊覽者は著しく激増し、毎年三十萬人を下らざる勢となり茲に着眼せるか縣下大財閥相協力して資本金百萬圓にて大阿蘇登山道路蘇式會社と銘打つて組織計畫を起した。同計畫の大要は大阿蘇山を中心として宮崎縣神都高千穂、別府、久住高原、日田盆地、熊本市、三角、雲仙、長崎市、と連絡する景勝地大觀光路線を實現せしめ同觀光バス、ホテル、ケーブル等も同社で經營し、現在の登山バ

スは買収し、専用道路の通行料を徴收する  
たい理想らしい。  
(昭和十年一月二十一日)

など大規模なる計畫にて各方面の注目を引  
て居る、幸に四圍に温泉地に恵まれ行く行  
くは九州の輕井澤或は九州の箱根と言はせ

× × × × ×

### 國の財政と地方財政との膨脹(数字的實況)

(單位千圓)

年度	國歲出總額	指數	地方費歲出總額	指數
明治卅一年	二一九、七五八	一〇〇	九八、七四二	一〇〇
大正二年	五七三、六三四	二六一	三二七、一七七	三三一
昭和二年	一、七六五、七二三	八〇三	二、〇〇〇、八〇五	二、〇二六
三 年	一、八一四、八五五	八二六	一、九二四、六九一	一、九四九
四 年	一、七三六、三一七	七九〇	一、七三七、七八三	一、七六〇
五 年	一、五五七、八六三	七〇九	一、七七五、〇六五	一、七九八
六 年	一、四七六、八七五	六七二	一、六四六、三二八	一、六六七
七 年	一、九五〇、一四〇	八八七	一、四九一、〇一六	一、五一〇
八 年	二、三〇九、四一四	一、〇五一	一、七七五、七三八	一、七九八
九 年	二、一一二、一三三	九六一	一、八一五、三四八	一、八四〇